

議 会 改 革 特 別 委 員 会 研 修 会 報 告 書

墨田区議会基本条例（平成30年墨田区条例第46号）第23条第2項の規定により開催した議会改革特別委員会における研修会について、下記のとおり報告する。

令和3年10月11日

墨田区議会議長
木 内 清 様

議会改革特別委員長
加 納 進

記

- 1 開催日時
令和3年8月31日（火） 午前10時15分から午前11時58分まで
- 2 開催場所
第2委員会室
- 3 出席委員氏名
加 納 進 坂 井 ユカコ 藤 崎 こうき
渋 田 ちしゅう 堀 よしあき あさの 清 美
佐 藤 篤 加 藤 拓 はねだ 福 代
あ べ きみこ おおこし 勝 広 は ら つとむ
- 4 特別出席者氏名
議長
木 内 清
- 5 講師氏名
早稲田大学マニフェスト研究所
招聘研究員
中 道 俊 之（岩手県在住のため、リモートによる出席）
公益財団法人日本生産性本部
鎌 田 朋 宏 田 中 優 磨
- 6 目的
議会改革特別委員会における調査に資するため、地方議会評価モデルの評価結果の概要及び昨今の議会改革のトレンドについての説明等を聴取する。
- 7 内容
（1）評価結果の概要説明
（2）チーム議会を実現する議会マネジメントとは
（3）組織運営の観点から見た議会改革のポイント
（4）意見交換
- 8 概要
裏面のとおり

研修会概要

1 評価結果の概要説明

日本生産性本部・鎌田氏から、本年実施した地方議会評価モデルの試行結果について振り返りと説明があった。

2 チーム議会を実現する議会マネジメントとは

中道氏から、議会改革を継続させるチーム議会を作るために必要なこと、各議会におけるチーム議会に係る共通点、傾向等について説明があった。

3 組織運営の観点から見た議会改革のポイント

日本生産性本部・田中氏から、地方議会評価モデルの取組の背景について、組織運営の観点からの説明があった。

4 意見交換（質疑等）

◎委員（渋田ちしゅう）

- （１）過渡期の在り方として、執行機関の各部局に議会担当職員を置くということについて、どう考えるか。
- （２）議会事務局と区長部局とが別組織としてあるべきであると考えているが、その考え方について、どう考えるか。
- （３）（２）を前提とすると、区長部局の職員と議会事務局の職員が別組織だから仲間ではないという考えを持つことがあり得るが、そのコミュニケーションについて、どう考えるか。

◎中道氏

- （１）長部局に議会事務局の職員と併任している職員を配置している自治体があることは聞いたことがあるが、過渡期の在り方として、必要だと考えている。
- （２）・（３）法律上は、議会と長部局は別の権限の中で任用は行われる仕組みとなっているが、全体のバランス等を見ながら検討しなければならないと思う。議会独自に任用することができ、議会の中で専門職を育てていくということも一つの考え方だが、長部局も議会も総じて市民の方を向いて仕事をしていかなければならないと考えるので、あまり任用形態にこだわらなくてもいいと思っている。

◎委員（はらつとむ）

- （１）議会事務局の職員の意識改革について、「執行機関至上主義」ということが述べられているが、具体的にどのような事例があったのか。また、議会は、そのことによってどのような弊害があるのか。

◎中道氏

- （１）議会は、政策提言型ではなく、従来の追認監視で十分だというように思っている執行機関の職員のようなマインドがあるのであれば、それはよくないということである。議会の中でも政策提言ができるのだから、市民の声をしっかりと議会も聞いて、よりいい政策を作り上げていくべきだと考えており、執行機関が優位だ、中心となってやるべきだという考え方を持つことはよくないと考えている。

5 研修会資料

省略